

京都教育大学環境教育実践センター内の木本植物

田淵 春三¹⁾・梁川 正²⁾

Woody Plants in the Center for Environmental Education,
Kyoto University of Education

Shunzo TABUCHI and Tadashi YANAGAWA

抄 録：京都教育大学環境教育実践センター内の木本植物 224 種を記録した。それぞれ、裸子植物 23 種、被子植物 200 種が含まれ、センターの緑化の沿革と展望を示すとともに植物目録を作成した。

キーワード：京都教育大学環境教育実践センター、木本植物、植物目録

京都教育大学環境教育実践センターは大学本部の藤森学舎から西約 1km の位置にあって、附属高等学校、男子寮、女子寮、国際交流会館に隣接して、都市近郊の緑豊かな自然環境を維持している。総面積 10000 平米の中に、管理棟、環境教育有機物リサイクルシステム実験実習棟、温室等の建造物があり、環境教育実習園の中やセンター内に多数の植物を栽植している。筆者らはこれまでこのセンター内の植物のうち、木本植物については、1980 年に植物目録を作成しているが、その後のそれらの植物の状況については詳細な調査を行えなかった。今日、植物資源の保護、育成は学術研究および教育研究の視点から考えて極めて重要であり、とくに、センターでは公開部門での活動を活発に行っており、現状をふまえた適確な調査資料を整備することが急務である。このような目的から、本報では、附属農場から環境教育実践センターへと組織が変化する中での緑化の沿革と展望を示すとともに、センター内で調査した木本植物を記載し、植物目録としてまとめた。

調査・記載の方法

調査は 2010 年 4 月から 12 月にかけてセンター内全域にて行った。それぞれの種の記載に関して、学名は可能な限り、最近の研究によるものを採用し、見解の異なるものについては繁用される学名を採用した。記載の配列は、裸子植物、被子植物双子葉類、単子葉類の順に大別した。

1) 京都教育大学名誉教授 2) 京都教育大学

結果と考察

今回の調査において、確認された木本植物の種類と数は、裸子植物 7 科 23 種、被子植物双子葉類 51 科 200 種、単子葉類 5 科 10 種、合計 63 科 223 種であった（第 1 表）。

第 1 表 センター内の木本植物の種類と数

分 類	科	種
裸子植物	7	23
被子植物	56	200
双子葉類	51	190
単子葉類	5	10
合 計	63	223

緑化の沿革と展望

環境教育実践センターの沿革は次の 4 期に大別される。

1. 附属農場（環境教育実践センターの前身）の播種期（1957 年～ 10 年間）

1957 年、紫野学舎の伏見への移転にともない丹波町、市内の紫野及び伏見の 3 カ所にあった農場が現在地に集約され、その際に記念樹と一部の果樹が移植された。農場開設当初は軍隊跡地の低湿地の土壌改良が優先されたが、農地周辺の生け垣用種の播種や緑陰樹の挿し木などを進めた他、大阪市立大学私市植物園から分譲された多数の稚苗を畑地で育成して定植に備えた。

2. 全体計画の確定と樹木の植栽・増殖期（1967～ 15 年間）

(1) 附属高校新設による建物の移築と農場の全体計画の確定

1967 年、附属高校の新設により建物を移築することで農場の全体計画と地割りが確定した。

(2) 緑化計画の策定と実施

農場の全体計画と地割りの確定に基づき緑化計画を策定した。これは教育系大学の農場の緑化として、学園に広く求められる①学習環境の保全、②地域環境緑化の核、③教材の提供、④広域避難地の保全の他、緑化そのものの研究・教育及び学校緑化の実物見本と教材植物の展示、緑化用苗木の供給基地としての機能も考慮したものである。

それに先立ち、京都大学上賀茂試験地、林業試験場関西支場などから各種苗木の分譲、贈与を受け、平行して場内独自の増殖にも力を尽くした。その結果 1973 年の調査では 58 科 167 種、1980 年には 65 科 225 種を数えるに至った。

3. 緑化の充実と外部への貢献（1982年～10年間）

(1) 種類の充実と増殖

この期には外部からは京都大学食糧科学研究所、神戸大学などから多数の苗木、成木の提供を受けるとともに農場自体の増殖も軌道に乗ってきた。

(2) 外部への苗木の提供と緑化の協力

増殖された苗木・成木は主に大学藤森学舎及び京都市内の学校園に提供された。特筆すべきは1982年思いもかけず御所の環境庁を介して林業試験場関西支場から45科124種10,800本に及ぶ苗木と成木贈与の申し入れがあった。農場には植栽の余地が無かったので大学本部（45科124種約1,300本）、7附属を中心に京都市内の学校園に受け入れてもらうこととし、関係各位の献身的な努力で限られた期間内に総てを植え終えた成就感と感動は忘れ難いものとなった。

4. 環境教育実践センターへの発展

1992年、附属農場は環境教育実践センターとなり教育大学系農場では嚆矢としてセンター化を果たし、新たな環境教育実践への歩みを始めた。研究面では梁川教授の組織培養による絶滅危惧種の復活などに成果を挙げ、また2000年からは美術科の岩村教授の指導で樹木園南の旧職員宿舍跡地を環境共生園とし、作庭実習での森づくりが開始された。以後10年にわたって25科52種の里山に見られる野生種が植栽され、厳しい条件下に枯死するものもかなりあるが、当初植えられたブナ科を中心とした木々は確実に安定した雑木林を形成しつつある。

5. 環境教育実践センター緑化の展望

林業試験場を始め大阪市立大学、京都大学、神戸大学などの協力を得ながら附属農場以来の緑化は半世紀の歴史を刻んだ。植栽に当たっては緑化計画に沿って、地割りに対応するように配慮したが、木々の成長にともなう厳しい生存競争により枯死する一方で補植や種子の飛散、鳥などによる自然の発生も見られ、またヒトツバタゴのような貴重なものは予備的に他に移植したものもある。このように変化の激しい植物相を適当な時期に明らかにする必要を痛感しながら1980年以来、正式な植物目録を著していないので今般30年ぶりに調査し発表の運びとなった。

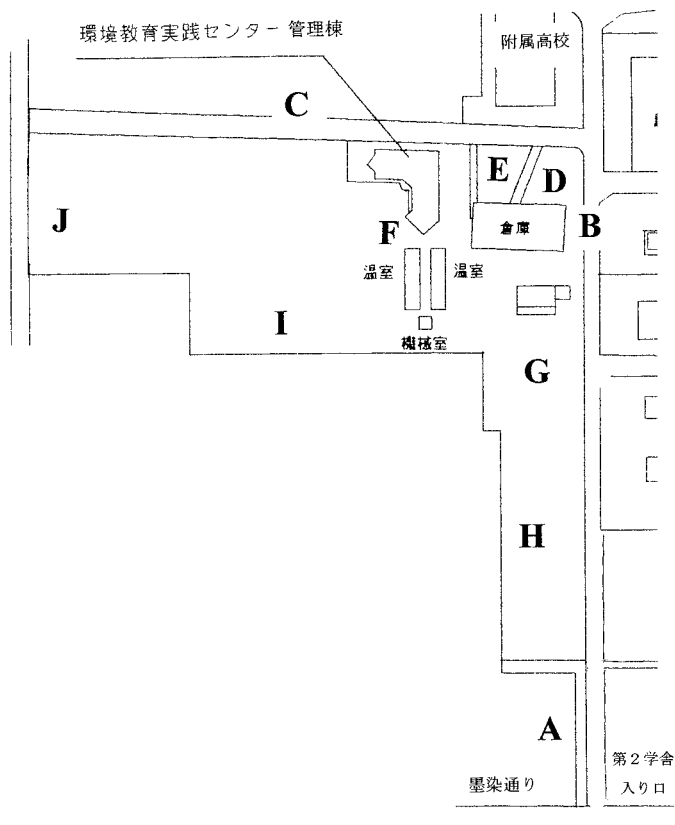
今後は、センターにふさわしい植栽、すなわち、大学の教育・研究に必要なものは言うまでもなく、環境教育、学校緑化の範となり、積極的に開放するとともに学校に必要な苗木の供給や情報提供の一層の充実を図りたい。

植物目録（木本の部） 2011

凡 例

1. ここでは京都教育大学環境教育実践センターに、2011年1月現在植栽中の植物のうち、木本植物のみを収録した。
2. 植物の配列は裸子植物，双子葉植物，単子葉植物に大別し，それぞれの中で科，属，種名のアルファベット順に配列した。
3. 各種の記載は和名，学名，センター内植栽場所の記号の順に記入した。
4. センター内植栽場所の略記号は次のとおり。

A：墨染通りから第二学舎の入口まで	F：管理棟南側
B：東側道路沿い	G：旧管理棟南と樹木園
C：附属高校との境界	H：新植栽地（環境共生園）
D：前庭（東側）	I：圃場の南側（苗圃）
E：前庭（西側）	J：西の樹木園



裸子植物

ヒノキ科	Cupressaceae	
ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> Sieb. et Zucc. ex Endl.	E
サワラ	<i>C. pisifera</i> Endl.	H
ヒヨクヒバ	<i>C. pisifera</i> var. <i>filifera</i> Beiss. et Hochst.	BJ
タマイブキ	<i>Juniperus chinensis</i> L. cv. <i>globosa</i>	D
カイズカイブキ	<i>J. chinensis</i> L. cv. <i>kaizuka</i> Hort.	CD
ミヤマビャクシン	<i>J. chinensis</i> L. var. <i>sargentii</i> Henry	E
コノテガシワ	<i>Thuja orientalis</i> L.	G
アスナロ	<i>Thujopsis dolabrata</i> Sieb. et Zucc.	E
ソテツ科	Cycadaceae	
ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.	B
イチョウ科	Ginkgoaceae	
イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i> L.	G
オハツキイチョウ	<i>G. biloba</i> L. var. <i>epiphylla</i>	G
マツ科	Pinaceae	
バンクスマツ	<i>Pinus banksiana</i> L.	E
アカマツ	<i>P. densiflora</i> Sieb. et Zucc.	H
スラッシュマツ	<i>P. elliotii</i> Engeliem	G
テーダーマツ	<i>P. taeda</i> L.	I
クロマツ	<i>P. thunbergii</i> Paliatore	H
ツガ	<i>Tsuga sieboldii</i> Carr.	H
マキ科	Podocarpaceae	
イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i> D. Don	G
ラカンマキ	<i>P. macrophyllus</i> D. Don var. <i>maki</i> Sieb.	E
ナギ	<i>P. nagi</i> Zoll et Moritz.	GH
イチイ科	Taxaceae	
セイヨウイチイ	<i>Taxus baccata</i> L.	BG
カヤ	<i>Torreya nucifera</i> Sieb. et Zucc.	H
スギ科	Taxodiaceae	
スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> D. Don	CI

被子植物

双子葉類

カエデ科	Aceraceae	
トウカエデ	<i>Acer buergerianum</i> Miq.	CEGH
ネグンドカエデ	<i>A. negundo</i> L.	J
イロハモミジ	<i>A. palmatum</i> Thunb.	EH
マタタビ科	Actinidiaceae	
キウイ	<i>Actinidia chinensis</i> Planch.	G
ウルシ科	Anacardiaceae	
ハグマノキ	<i>Cotinus coggygria</i> Scop.	E
キョウチクトウ科	Apocynaceae	
キョウチクトウ	<i>Nerium indicum</i> Mill.	BI
モチノキ科	Aquifoliaceae	
マメツゲ	<i>Ilex crenata</i> Thunb. cv. <i>convexa</i> Makino	E
モチノキ	<i>I. integra</i> Thunb.	G
タラヨウ	<i>I. latifolia</i> Thunb.	G
ソヨゴ	<i>I. pendunculosa</i> Miq.	GH
クロガネモチ	<i>I. rotunda</i> Thunb.	BG
ウコギ科	Araliaceae	
タラノキ	<i>Aralia elata</i> Seem.	G
カクレミノ	<i>Dendropanax trifidus</i> Makino	GH
ヤツデ	<i>Fatsia japonica</i> Decne. et Planch.	D
セイヨウキヅタ	<i>Hedera helix</i> L.	A
ニツキヅタ	<i>H. helix</i> L. var. <i>tricolor</i> Hibberd	E
キヅタ	<i>H. rhombea</i> Bean	C
カミヤツデ	<i>Tetrapanax papyriferus</i> K. Koch	BD
メギ科	Berberidaceae	
フッカーメギ	<i>Berberis hookeri</i> Lem.	BCE
ナンテン	<i>Nandina domestica</i> Thunb.	GCE
カバノキ科	Butulaceae	
ヤシャブシ	<i>Alnus firma</i> Sieb. et Zucc.	H
ヤマハンノキ	<i>A. hirsuta</i> Turcz. var. <i>sibirica</i> Fischer.	H
アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i> Bl.	H

ハシバミ	<i>Corylus heterophylla</i> Fischer ex Besser var. <i>thunbergii</i> Bl.	H
ツノハシバミ	<i>C. sieboldiana</i> Bl.	H
ノウゼンカズラ科	Bignoniaceae	
ノウゼンカズラ	<i>Campsis grandiflora</i> K. Schum.	BDE
ツゲ科	Buxaceae	
ツゲ	<i>Buxus microphylla</i> Sieb. et Zucc. var. <i>japonica</i> Rehd. et Wils.	DI
ロウバイ科	Calycanthaceae	
ロウバイ	<i>Chimonanthus praecox</i> Link.	CG
ソシンロウバイ	<i>C. praecox</i> var. <i>grandiflorus</i> f. <i>concolor</i> Makino	CJ
スイカズラ科	Caprifoliaceae	
ハナツクバネウツギ	<i>Abelia</i> × <i>grandiflora</i> Rehd.	CE
ウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> Miq.	C
スイカズラ	<i>L. japonica</i> Thunb.	C
セッコウボク	<i>Symphoricarpos albus</i> S. F. Blake	BI
ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.	H
ハクサンボク	<i>V. japonicum</i> Spreng.	H
サンゴジュ	<i>V. odratissimum</i> Ker-Gawler var. <i>awabuki</i> Zabel	B
オトコヨウゾメ	<i>V. phlebotrichum</i> Sieb. et Zucc.	H
オオデマリ	<i>V. plicatum</i> Thunb. f. <i>plicatum</i>	G
タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i> K. Koch.	C
ニシキギ科	Celastraceae	
ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i> Sieb.	FI
マサキ	<i>E. japonicus</i> Thunb.	ABCI
キンマサキ	<i>E. japonicus</i> Thunb. f. <i>aureovariegatus</i> Hegi.	A
マユミ	<i>E. sieboldianus</i> Blume	ABI
ミズキ科	Cornaceae	
ハナミズキ	<i>Benthamidia florida</i> Spach	DG
ヤマボウシ	<i>B. japonica</i> Hara	H
クマノミズキ	<i>Swida. macrophylla</i> Soják	GI
ユズリハ科	Daphniphyllaceae	
ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq.	E

グミ科	Elaeagnaceae	
ナワシログミ	<i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.	J
アキグミ	<i>E. umbellata</i> Thunb.	H
カキノキ科	Ebenaceae	
カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> Thunb.	GJ
ツツジ科	Ericaceae	
ミツバツツジ	<i>Rhododendron dilatatum</i> Miq.	H
サツキ	<i>R. indicum</i> Sweet	F
オオムラサキ	<i>R. ōomurasaki</i> Makino	B
ヒラドツツジ	<i>R. spp.</i> (<i>Hirado Azalea hybrida</i>)	G
シャシャンボ	<i>Vaccinium bracteatum</i> Thunb.	H
トチュウ科	Eucommiaceae	
トチュウ	<i>Eucommia ulmoides</i> D. Oliver	G
トウダイグサ科	Euphorbiaceae	
オオバベニガシワ	<i>Alchornea davidi</i> Franch.	C
アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i> Mueller-Arg.	HJ
ナンキンハゼ	<i>Sapium sebiferum</i> Roxb.	G
ブナ科	Fagaceae	
クリ	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	Z
ツブラジイ	<i>Castanopsis cuspidata</i> Schottky	H
スダジイ	<i>C. sieboldii</i> Hatusima ex Yamazaki et Masiba	GH
イヌブナ	<i>Fagus japonica</i> Maxim.	H
マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i> Nakai	H
クヌギ	<i>Quercus acutissima</i> Carruthers	H
ナラガシワ	<i>Q. aliena</i> Bl.	H
ミズナラ	<i>Q. crispula</i> Blume	H
カシワ	<i>Q. dentata</i> Thunb. ex Murray	H
アラカシ	<i>Q. glauca</i> Thunb.	H
シラカシ	<i>Q. myrsinaefolia</i> Blume	GH
ウラジロガン	<i>Q. salicina</i> Blume	H
コナラ	<i>Q. serrata</i> Thunb. ex Murray	H
イイギリ科	Flacourtiaceae	
イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i> Maxim.	IG

マンサク科	Hamamelidaceae	
トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i> Sieb. et Zucc.	C
イスノキ	<i>Distylium racemosum</i> Sieb. et Zucc.	G
フウ	<i>Liquidambar formosana</i> Hance	GI
モミジバフウ	<i>L. styraciflua</i> L.	GJ
トチノキ科	Hippocastanaceae	
トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i> Blume	H
クスノキ科	Lauraceae	
クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i> Presl	CH
ゲッケイジュ	<i>Laurus nobilis</i> L.	ABEG
ヤマコウバシ	<i>Lindera glauca</i> Blume	H
アブラチャン	<i>L. praecox</i> Blume	H
テンダイウヤク	<i>L. strychnifolia</i> F. Vill.	D
タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i> Sieb. et Zucc.	H
シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> Koidz.	H
マメ科	Leguminosae	
ムレスズメ	<i>Caragana chamlagu</i> Lam.	D
コバノセンナ	<i>Cassia colteoides</i> Collad.	C
ハナズオウ	<i>Cercis chinensis</i> Bunge	CE
ミヤギノハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i> Nakai	F
ニセアカシア	<i>Robinia pseudo-acacia</i> L.	B
エンジュ	<i>Sophora japonica</i> L.	GJ
ミソハギ科	Lythraceae	
サルスベリ	<i>Lagerstroemia indica</i> L.	CEI
モクレン科	Magnoliaceae	
ユリノキ	<i>Liriodendron tulipifera</i> L.	E
ハクモクレン	<i>Magnolia heptapeta</i> Dandy	G
コブシ	<i>M. praecocissima</i> Koidz.	H
モクレン	<i>M. quinquepeta</i> Dandy	G
シデコブシ	<i>M. tomentosa</i> Thunb.	D
トウオガタマ	<i>Michelia figo</i> K. Spreng.	DI
アオイ科	Malvaceae	
ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i> L.	BCI
センダン科	Meliaceae	

センダン	<i>Melia azedarach</i> L. var. <i>subtripinnata</i> Miquel	GIJ
クワ科	Moraceae	
ヒメコウゾ	<i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb.	I
イチジク	<i>Ficus carica</i> L.	FJ
イタビカズラ	<i>F. nipponica</i> Fr. et Sav.	D
マグワ	<i>Morus alba</i> L.	IJ
ヤマグワ	<i>M. australis</i> Poir.	J
ヤブコウジ科	Myrsinaceae	
マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i> Sims	GH
フトモモ科	Myrtaceae	
ブラシノキ	<i>Callistemon</i> sp.	F
ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.	DI
モクセイ科	Oleaceae	
ヒトツバタゴ	<i>Chionanthus retusa</i> Lindl. et Paxt.	G
シナレンギョウ	<i>Forsythia viridissima</i> Lindl.	ABCJ
レンギョウ	<i>F. suspensa</i> Vahl	BC
シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i> C. B. Clarke	J
ケアオダモ	<i>F. lanuginosa</i> Koidz.	H
オウバイ	<i>Jasminum nudiflorum</i> Lindl.	C
ウンナンオウバイ	<i>J. mesnyi</i> Hance	C
セイヨウイボタ	<i>Ligustrum vulgare</i> L.	ABCI
ネズミモチ	<i>L. japonicum</i> Thumb.	CG
トウネズミモチ	<i>L. incidum</i> Ait.	ABEC
イボタノキ	<i>L. obtusifolium</i> Sieb. et Zucc.	C
ヒイラギモクセイ	<i>Osmanthus</i> × <i>fortunei</i> Carrière	C
キンモクセイ	<i>O. fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino	CI
ヒイラギ	<i>O. heterophyllum</i> P. S. Green	C
トベラ科	Pittosporaceae	
トベラ	<i>Pittosporum tobira</i> Ait.	AG
ザクロ	Punicaceae	
ザクロ	<i>Punica granatum</i> L.	C
ヤエザクロ	<i>P. granatum</i> L. f. <i>pleniflora</i>	CD
バラ科	Rosaceae	
ボケ	<i>Chaenomeles speciosa</i> Nakai	C

カリン	<i>C. sinensis</i> Koehne	EGIJ
フランシエシヤリントウ	<i>Cotonester franchetii</i> Bois.	C
ベニシタン	<i>C. horizontalis</i> Decne.	C
ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindl.	J
セイヨウサンザシ	<i>Crataegus monogyna</i> Jacq.	D
リキュウバイ	<i>Exochorda racemosa</i> Rehd.	C
ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i> DC.	G
オオカナメモチ	<i>Photinia serratifolia</i> Kalkm.	G
カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> Decne. var. <i>leavis</i> Stapf.	G
ニワウメ	<i>Prunus japonica</i> Thunb. ex Murray	E
サトザクラ	<i>P. lannesiana</i> Wils.	B
セイヨウバクチノキ	<i>P. laurocerasus</i> L.	G
ウメ	<i>P. mume</i> Sieb. et Zucc.	BJ
オオシマザクラ	<i>P. speciosa</i> Nakai	B
ヤマザクラ	<i>P. jamasakura</i> Sieb. ex Koidz.	H
ソメイヨシノ	<i>P. ×yedoensis</i> Matsum.	BHI
タチバナモドキ	<i>Pyracantha angustifolia</i> C. K. Schneid.	CE
トキワサンザシ	<i>P. coccinea</i> M. J. Roen	C
シャリンバイ	<i>Raphiolepis indica</i> Lindl. ex Ker var. <i>umbellata</i> Ohashi	BCDI
シロヤマブキ	<i>Rhodotypos scandens</i> Makino	D
バラ	<i>Rosa hybrida</i> Hort.	F
ノイバラ	<i>R. multiflora</i> Thunb.	C
ニワナナカマド	<i>Sorbaria kirilowii</i> Maxim.	BD
アムールシモツケ	<i>Spiraea amurensis</i> Maxim.	BC
コデマリ	<i>S. cantoniensis</i> Lour.	CEI
シジミバナ	<i>S. prunifolia</i> Sieb. et Zucc.	BJ
ユキヤナギ	<i>S. thunbergii</i> Sieb. ex Blume	BE
トサシモツケ	<i>S. tosaensis</i> Yatabe	CJ
アカネ科	Rubiaceae	
コクチナシ	<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis. var. <i>radicans</i> Makino	D
ハクチョウゲ	<i>Serissa japonica</i> Thunb.	I
フイリハクチョウゲ	<i>S. japonica</i> Thunb. f. <i>variegata</i> Hara	I
ミカン科	Rutaceae	
ヒメユズ	<i>Citrus junos</i>	G
レモン	<i>C. limon</i> Burm. f.	F
ナツミカン	<i>C. natsudaidai</i> Hayata	G
キンカン	<i>Fortunella margarita</i> Swingle	G
カラタチ	<i>Poncirus trifoliata</i> Raf.	G

ヤナギ科 ポプラ	Salicaceae <i>Populus nigra</i> L.	C
ムクロジ科 オオモクゲンジ	Sapindaceae <i>Koelreuteria bipinnate</i> Laxm.	CHI
ユキノシタ科 ウツギ サラサウツギ アジサイ カシワバアジサイ バイカウツギ	Saxifragaceae <i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc. <i>D. crenata</i> Sieb. et Zucc. f. <i>plena</i> C. K. Schn. <i>Hydrangea macrophylla</i> Ser. f. <i>macrophylla</i> <i>H. quercifolia</i> Bartr. <i>Philadelphus satsumi</i> Sieb. ex Lindl. et Paht.	BCDE BC I E C
ナス科 クコ	Solanaceae <i>Lycium chinense</i> Miller	CG
アオギリ科 アオギリ	Sterculiaceae <i>Firmiana simplex</i> W. F. Wight	AEGH
エゴノキ科 エゴノキ	Styracaceae <i>Styrax japonica</i> Sieb. et Zucc.	H
ツバキ科 ツバキ サザンカ チャノキ ヒサカキ モッコク	Theaceae <i>Cameria japonica</i> L. <i>C. sasanqua</i> Thunb. <i>C. sinensis</i> O. Kuntze <i>Eurya japonica</i> Thunb. <i>Ternstroemia gymnanthera</i> Beddome	EGHI ADI G H I
ジンチョウゲ科 ジンチョウゲ ミツマタ	Thymelaeaceae <i>Daphne odora</i> Thunb. <i>Edgeworthia chrysantha</i> Lindl.	D J
シナノキ科 ウオトリギ シナノキ	Tiliaceae <i>Grewia biloba</i> G. Don. var. <i>parviflora</i> Hanb. -Mazz. <i>Tilia japonica</i> Simonkai	C G
ニレ科 ムクノキ エノキ	Ulmaceae <i>Aphananthe aspera</i> Planch. <i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> Nakai	CD CHI

アキニレ	<i>Ulmus parviflora</i> Jacq.	ABCI
ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> Makino	GJ
クマツヅラ科	Verbenaceae	
ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	I
ボタンクサギ	<i>Clerodendrum bungei</i> Steud.	G
クサギ	<i>C. trichotomum</i> Thunb.	H
ブドウ科	Vitaceae	
ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i> Planch.	E
ブドウ	<i>Vitis</i> sp.	
単子葉類		
リュウゼツラン科	Agavaceae	
ニオイシュロラン	<i>Cordyline australis</i> Hook. f.	J
ユリ科	Liliaceae	
ナギイカダ	<i>Ruscus aculeatus</i> L.	G
バショウ科	Musaceae	
バショウ	<i>Musa basjoo</i> Sieb.	F
ヤシ科	Palmae	
ヤタイヤシ	<i>Butia yatay</i> Becc.	CG
チャボトウジュロ	<i>Chamaerops humilis</i> L.	G
カナリーヤシ	<i>Phoenix canariensis</i> hort. ex Chabaud	C
シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i> H. Wendl.	CG
トウジュロ	<i>T. wagnerianus</i> Becc.	I
イネ科	Poaceae	
ハチク	<i>Phyllostachys nigra</i> Munro var. <i>henonis</i> Stapf	CJ
クロチク	<i>P. nigra</i> Munro var. <i>nigra</i>	C

和名索引

ア		エノキ	9
アオイ科	6	エンジュ	6
アオギリ科	9		
アオギリ	9	オ	
アカシデ	3	オウバイ	7
アカメガシワ	5	オオカナメモチ	8
アカネ科	8	オオシマザクラ	8
アカマツ	2	オオデマリ	4
アキグミ	5	オオバベニガシワ	5
アキニレ	10	オオムラサキ	5
アジサイ	9	オオモクゲンジ	9
アスナロ	2	オトコヨウゾメ	4
アブラチャン	6	オハツキイチヨウ	2
アムールシモツケ	8		
アラカシ	5	カ	
		カイズカイブキ	2
イ		カエデ科	3
イイギリ科	5	カキノキ科	5
イイギリ	5	カキノキ	5
イスノキ	6	カクレミノ	3
イタビカズラ	7	カシワ	5
イチイ科	2	カシワバアジサイ	9
イチジク	7	カナリーヤシ	10
イチヨウ科	2	カバノキ科	3
イチヨウ	2	ガマズミ	4
イヌブナ	5	カマツカ	8
イヌマキ	2	カミヤツデ	3
イネ科	10	カヤ	2
イボタノキ	7	カラタチ	8
イロハモミジ	3	カリン	8
		キ	
ウ		キウイ	3
ウオトリギ	9	キズタ	3
ウグイスカグラ	4	キョウチクトウ科	3
ウコギ科	3	キョウチクトウ	3
ウツギ	9	キンカン	8
ウメ	8	ギンバイカ	7
ウラジロガシ	5	キンマサキ	4
ウルシ科	3	キンモクセイ	7
ウンナンオウバイ	7		
		ク	
エ		クコ	9
エゴノキ科	9	クサギ	10
エゴノキ	9		

クスノキ科	6	シラカシ	5
クスノキ	6	シロダモ	6
クマツツラ科	10	シロヤマブキ	8
クマノミズキ	4	ジンチョウゲ	9
グミ科	5	ジンチョウゲ科	9
クヌギ	5		
クリ	5	ス	
クロガネモチ	3	スイカズラ	4
クロチク	10	スイカズラ科	4
クロマツ	2	スギ	2
クワ科	7	スギ科	2
		スダジイ	5
ケ		スラッシュマツ	2
ケアオダモ	7		
ゲッケイジュ	6	セ	
ケヤキ	10	セイヨウイチイ	2
		セイヨウイボタ	7
コ		セイヨウキヅタ	3
コクチナシ	8	セイヨウサンザシ	8
コデマリ	8	セイヨウバクチノキ	8
コナラ	5	セッコウボク	4
コノテガシワ	2	センダン	7
コブシ	6	センダン科	6
コバノセンナ	6		
		ソ	
サ		ソシンロウバイ	4
ザクロ科	7	ソテツ	2
ザクロ	7	ソテツ科	2
サザンカ	9	ソメイヨシノ	8
サツキ	5	ソヨゴ	3
サトザクラ	8		
サラサウツギ	9	タ	
サルスベリ	6	タチバナモドキ	8
サワラ	2	タニウツギ	4
サンゴジュ	4	タブノキ	6
		タマイブキ	2
シ		タラノキ	3
シジミバナ	8	タラヨウ	3
シデコブシ	6		
シナノキ	9	チ	
シナノキ科	9	チャノキ	9
シナレンギョウ	7	チャボトウジュロ	10
シマトネリコ	7		
シャシャンボ	5	ツ	
シャリンバイ	8	ツガ	2
シュロ	10	ツゲ	4

ツゲ科	4	ニワウメ	8
ツタ	10	ニワナナカマド	8
ツツジ科	5		
ツノハシバミ	4	ネ	
ツバキ	9	ネグンドカエデ	3
ツバキ科	9	ネズミモチ	7
ツノハシバミ	4		
ツブラジイ	5	ノ	
		ノイバラ	8
テ		ノウゼンカズラ	4
テーダーマツ	2	ノウゼンカズラ科	4
テンダイウヤク	6		
		ハ	
ト		バイカウツギ	9
トウオガタマ	6	ハクサンボク	4
トウカエデ	3	ハクチョウゲ	8
トウジュロ	10	ハグマノキ	3
トウダイグサ科	5	ハクモクレン	6
トウネズミモチ	7	ハシバミ	4
トキワサンザシ	8	バショウ	10
トサシモツケ	8	バショウ科	10
トサミズキ	6	ハチク	10
トチノキ	6	ハナズオウ	6
トチノキ科	6	ハナツクバネウツギ	4
トチュウ	5	ハナミズキ	4
トチュウ科	5	バラ	8
トベラ	7	バラ科	7
トベラ科	7	バンクスマツ	2
		ヒ	
ナ		ヒイラギ	7
ナギ	2	ヒイラギモクセイ	7
ナギイカダ	10	ヒサカキ	9
ナス科	9	ヒノキ	2
ナツミカン	8	ヒノキ科	2
ナラガシワ	5	ヒトツバタゴ	7
ナワシログミ	5	ヒメコウゾ	7
ナンキンハゼ	5	ヒメユズ	8
ナンテン	3	ヒヨクヒバ	2
		ヒラドツツジ	5
ニ		ビワ	8
ニオイシュロラン	10		
ニシキツタ	3	フ	
ニシキギ	4	フィリハクチョウゲ	8
ニシキギ科	4	フウ	6
ニセアカシア	6	フッカーメギ	3
ニレ科	9		

ブドウ	10	メ	
ブドウ科	10	メギ科	3
フトモモ科	7		
ブナ科	5	モ	
ブラシノキ	7	モクセイ科	7
フランシエシャリントウ	8	モクレン	6
		モクレン科	6
へ		モチノキ	3
ベニシタン	8	モチノキ科	3
		モッコク	9
ホ		モミジバフウ	6
ボケ	7		
ボプラ	9	ヤ	
ボタンクサギ	10	ヤエザクロ	7
		ヤシ科	10
マ		ヤシヤブシ	3
マキ科	2	ヤタイヤシ	10
マダワ	7	ヤツデ	3
マサキ	4	ヤナギ科	9
マツ科	2	ヤブコウジ科	7
マテバシイ	5	ヤマコウバシ	6
マタタビ科	3	ヤマダワ	7
マメ科	6	ヤマザクラ	8
マメツゲ	3	ヤマハンノキ	3
マユミ	4	ヤマブキ	8
マンサク科	6	ヤマボウシ	4
マンリョウ	7		
		ユ	
ミ		ユキノシタ科	9
ミカン科	8	ユキヤナギ	8
ミズキ科	4	ユズリハ	4
ミズナラ	5	ユズリハ科	4
ミソハギ科	6	ユリ科	10
ミツバツツジ	5	ユリノキ	6
ミツマタ	9		
ミヤギノハギ	6	ラ	
ミヤマビャクシン	2	ラカンマキ	2
ム		リ	
ムクゲ	6	リキュウバイ	8
ムクノキ	9	リュゼツラン科	10
ムクロジ科	9		
ムラサキシキブ	10	レ	
ムレスズメ	6	レモン	8
		レンギョウ	7

□		
ロウバイ		4
ロウバイ科		4